

「食品流通」シラバス

| | | | |
|-----|-----------|----------|-------------|
| 単位数 | 2 単位 | 学科・学年・学級 | 園芸科 3年 A組 |
| 教科書 | 実教出版 食品流通 | 副教材等 | オリジナルワークシート |

1 学習の到達目標

農産物や農産物を原料とする食品の流通に必要な知識と技術を習得し、食品の特性と流通構造を理解するとともに、食品の流通と管理の合理化を図る能力を育てる。

2 重点目標

身近な米、青果物、畜産物等の流通について基礎的な知識を習得する。また、世界の食料事情や日本の食糧需給について理解し、食料の安定的な供給について関心を高める。

3 学習の計画

| 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料等 |
|----|-----------|-----------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 | 現代生活と食品流通 | 流通の始まりと発展 | 私たちの生活と流通 自給自足、物々交換から市へ 近代的な流通の発展 | 流通とは何かを理解できる（ワークシート分析） 生活と流通の関わりについて興味を持って学ぶことができる（ワークシート分析） 生産と消費のへだたりについて理解し、これを説明することができる（班別学習行動観察） 流通の働きについて、身近な事例を参考にして考察する（班別学習行動観察） 青果物の商品特性について学ぶ（ワークシート分析） 青果物の消費・購入の変化と流通変化の関係について、グラフを読み解くことができる（ワークシート分析） |
| | | 流通の働き | 生産と消費のへだたり 物流、商流、情報流 流通と費用 | |
| 5 | おもな食品の流通 | 青果物の流通 中間考査 | 流通を支えるしくみ 青果物の商品特性と卸売市場 青果物流通の変化と急増する輸入青果物 | |
| 6 | 現代生活と食品流通 | 食品流通の役割 | 生活に欠かせない食品流通 食品流通に求められるもの | 食品流通の重要性について資料を活用することができる。また、食品流通に求められる安定性、安全性、効率性についてグラフ等を活用して表現できる（ワークシート分析） 所得水準と食料消費の関連について興味をもって学ぶことができた（班別学習行動観察） 外国と比べ、日本の食料消費の特徴について理解できる。また、世界の食料生産と人口について、グラフ等で表現することができた（ワークシート分析） 国際食料価格の特徴と貿易の流れについて、資料を参考に説明できる（班別学習行動観察） |
| | | 経済発展と食糧消費 | 経済システムの基本 所得水準と食料消費 | |
| 7 | 経済活動と食料 | 世界の食料事情 期末考査 | 増加する人口と食料生産 世界の食料需給、輸出する国、輸入する国 グローバル化する食品流通の意義と問題点 | |
| 9 | 経済活動と食料 | 日本の食生活、食料需給と自給率 | 日本の食生活 日本の食料需給と農産品貿易 日本の食料自給率 | 日本の食料消費の変化について興味をもって学んだ（班別学習行動観察） 食料生産・輸出入の動向について資料を活用できる（班別学習行動観察） 日本の自給率の動向について、グラフや表を理解できる（ワークシート分析） 米の食品特性と流通について、興味をもって学ぶことができた（ワークシート分析） 麦の商品特性と流通について理解することができた（ワークシート分析） 小麦粉の特性と製品について、身近な商品から考えることができる（班別学習行動観察） |
| 10 | おもな食品の流通 | 米の流通 | 食品としての特性 米の分類・種類 流通制度 検査と表示制度 商品としての特性 | |
| | | 麦の流通 中間考査 | 麦の種類と用途 小麦粉の流通 | |

| | | | | | |
|----|---------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 11 | 経済活動と食料 | 私たちをとりまくフードシステム | フードシステムのしくみ フードシステムを構成する産業 | 食品流通の位置づけを理解することができた（ワークシート分析） フードシステムのしくみについて説明できる（班別学習行動観察） 商品としての食品の特徴を理解できた（ワークシート分析） 食品の需用の特性についてグラフや表で示すことができる（ワークシート分析） 流通経路の概要を知り、卸売業者や小売業者の役割について説明することができた（班別学習行動観察） 畜産物の商品特性と流通について、興味をもって学ぶことができた（班別学習行動観察） | |
| | 食品流通のしくみと働き | 食品流通の特徴 食品流通のしくみ 価格の形成と流通経費 畜産物の流通 | 商品と生産、需用の特徴 流通経路と担い手 卸売業者、小売業者 価格の決定 販売価格の形成 食肉の商品特性 食肉の種類と流通 牛乳・乳製品の流通 | | |
| 12 | おもな食品の流通 | 期末考査 | | | |
| 1 | 食品の品質と規格 食品マーケティング | 食品の品質と安全性 食品マーケティング 加工食品の流通 | 食品の品質と機能 | 食品にどのような役割があるか興味をもって学ぶことができる（班別学習行動観察） 食品の品質と安全性について説明することができる（班別学習行動観察） マーケティングの意味と、生じた背景について理解できる（ワークシート分析） 加工食品の多様性と日本の生んだ加工食品について資料を活用し、わかりやすく発表できる（班別学習行動観察） | |
| | | | 食品の信頼と安全性 | | マーケティングの始まりと供給過剰の時代 |
| | | | 加工食品の商品特性 | | 加工食品の多様性と流通 地場加工食品と流通 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | 学年末考査 | | | |

4 評価の観点

| | |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | 食料消費の動向やフードシステムの役割などについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに品質を保持するために流通の効率化と管理の合理化を図る能力と態度を身に付けている。 |
| 思考・判断・表現 | 食品流通の現状や今日的な課題を見だし、農産物の流通を中心とした食料供給に関する分野における自らの職業生活、企業倫理や責任、環境への負荷について考え、その経過や結果を的確に表現している。 |
| 技能 | 地域の農産物や加工食品などの具体的な事例の学習を通して、流通経路、品質と規格、輸送と保管、マーケティングなど食品流通に関する基礎的、体系的な技能を身に付けている。 |
| 知識・理解 | 食品の特性と流通構造及び農産物の輸出入の増加や食に対する安全・安心の観点から、安全な食品の供給に必要な組織についての基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 |

5 評価の方法

オリジナルワークシートの分析、班別行動・発表の行動観察、授業の行動観察、定期考査、出席状況等を観点別に評価する。
上記4観点を総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- (1) オリジナルワークシートは提出となります。しっかり授業に参加して記入し、提出しましょう。提出されたオリジナルワークシートは必ず添削して返却します。このワークシートは態度（平常点）等で評価しますので必ず毎回提出してください。
- (2) 班別のグループ学習やビデオ視聴を行います。スーパーの広告についての分析や牛乳の飲み比べを行うなど、身近な食材の流通を題材としたグループワークです。受け身ではなく、主体的に行動し、意見をまとめたり発表したりしましょう。
- (3) 食品流通の教科書は毎時間活用します。常に机の上に置いておきましょう。